

## 背景

- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正
  - <参考5> 令和2年改正のポイント 「地域公共交通網形成計画」から「**地域公共交通計画**」へ
  - <参考6> 令和5年改正のポイント 地域関係者の連携・協働による「**共創**」による地域公共交通ネットワークの「**リ・デザイン(再構築)**」
- 現行「御嵩町地域公共交通網形成計画」の**期間満了**(令和7年度)

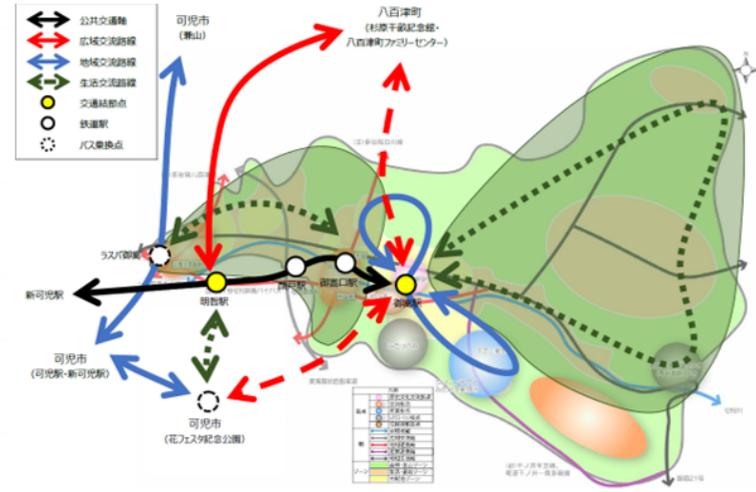
## 目的

持続可能な地域旅客運送サービスの提供を確保し、地域住民や観光客などの幅広い利用者が利用しやすい交通サービスの提供を目指すため、**共創を通じたリ・デザインの視点から、現行計画をアップデート**する。

## 現行計画

### 御嵩町地域公共交通網形成計画(令和2年度～令和7年度) 令和2年7月策定

交通将来像	みたけファンのくらしと交流を支える交通のまち
基本方針Ⅰ	御嵩町の将来都市構造を支える公共交通ネットワークの形成
<目標>	町内の公共交通の利便性・生産性向上
基本方針Ⅱ	広域連携・交流を促進する新たな広域路線の導入に向けた取り組みの推進
<目標>	周辺市町など広域的な移動の増加
基本方針Ⅲ	わかりやすく・利用しやすい公共交通利用促進施策の展開
<目標>	公共交通の認知度・満足度の向上



公共交通軸	広域交流路線	地域交流路線	生活交流路線	個別輸送
名古屋鉄道 (名鉄広見線)	YAOバス (可児市、八百津町と共同/ 定時定路線)	ふれあいバス みたけ・なか線/工業団地・南山台線 (自主運行/定時定路線)	ふれあい予約バス かみのごう線/ふしみ線 (自主運行/デマンド型バス)	一般タクシー

## 新計画方針

- 網形成計画で確保したネットワークを、**利便性・持続可能性・生産性が向上するよう再構築(交通DX、交通GX、3つの共創)**。
- ダイヤや運賃などの**サービス面の改善・充実**についての取組。
- 公共交通機関だけでなく、学校、福祉、病院等の送迎サービスなど**地域の多様な輸送資源活用**。
- 実効性確保のため、**定量的な目標設定、毎年度評価の仕組み**の制度化、定量的データに基づいた**PDCAサイクル**の確立。

## 期間

令和8(2026)年度～令和12(2030)年度の**5ヵ年計画**を想定 令和9(2027)年度～ 年数は他計画との足並みを揃える

# 御嵩町地域公共交通計画策定について(一部更新)

## 策定スケジュール

国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業)を活用し、**令和7年度中令和8年度中の策定**を進める。

### 令和6年度

計画を策定するにあたり、町民・利用者等の多様な**移動ニーズ**や**利用実態を把握・評価**したうえで、本町における地域公共交通の**課題を整理**する。

### 令和7年度

- ・**名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の存廃の結論が出るまで**  
**計画策定に向けた作業は一旦保留するものの、結論発出後に策定作業を再開する。**  
※広見線の結論発出時期によっては令和8年度のタスクを前倒す。  
 ※「社会資本整備総合交付金(地域公共交通再構築事業)」が活用できるような計画を志向する。
- ・**令和7年度を終期とする現行計画を、令和8年度まで1年間延長する。**  
**単なる作業時間確保ではなく、新計画を見据えた現行計画の取組を発展的に継続する。**  
※<計画変更(延長含む)手続き>公共交通会議での現行計画変更案承認(次回)→主務大臣への提出

### 令和8年度

令和6年度に実施した各種ニーズ調査や地域公共交通の課題の整理を踏まえ、地域公共交通計画を策定するために必要な**目指す将来像、基本方針、基本目標等の設定**、目標を達成するために行う**事業及びその実施主体等を検討**するとともに、全国の公共交通に関する**優良事例の調査**等を参考にしながら、**効果的、かつ導入可能なスキームを検討**し、計画書のとりまとめを行う。

タスク	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
交通会議				●				●			●	
①方針・目標等設定	検討・案作成			交通会議意見反映・案作成				計画案確定				
②事業・実施主体検討	検討・案作成			交通会議意見反映・案作成								
③優良事例導入検討	優良事例調査		導入可能性検討			案作成						
④パブリックコメント									準備・実施			
⑤完成											意見反映・完成	